

タンゴヤ株式会社 2022年7月期 決算説明資料

2022年9月
東証 スタンダード
証券コード：7126

TANGOYA CO.,LTD.

目次

I 会社概要 p.02

II 2022年7月期 決算ハイライト p.05

III 2022年7月期 決算概要 p.08

IV 2023年7月期の取り組み p.12

V 2023年7月期 業績予想・株主還元 p.16

I

会社概要

会社概要

【会社概要】

商号 タンゴヤ株式会社
本社 大阪市中央区淡路町3丁目5番1号
創業 1928年2月12日
資本金 8,000万円

代表取締役社長 田城 弘志
取締役 佛圓 悠馬
取締役 名本 育広
取締役 吉田 招代
取締役 中川 智雄
取締役 井出 久美
監査役 小田切 智美
監査役 橋本 匡弘
監査役 田附 貴章

【沿革】

1928年 2月 「丹後屋羅紗店」を大阪市東区にて創業
1949年 4月 株式会社「丹後屋羅紗店」を設立
1964年 6月 タンゴヤ株式会社へ商号変更
2009年12月 株式会社デパーチュアがGlobal Style 1号店をオープン
2012年11月 株式会社デパーチュアを吸収合併
2013年 4月 GINZA Global Style 1号店をオープン
2016年 7月 MARUNOUCHI Global Style 1号店をオープン
2019年 8月 GINZA Global Style COMFORT 1号店をオープン
2021年 8月 東京証券取引所JASDAQスタンダード市場
(現スタンダード市場) に上場

【店舗（2022年7月末時点30店舗）】



銀座本店・本館



銀座本店・新館



銀座新本店



MARUNOUCHI本店



コンフォート表参道店



大阪本町店



なんばスカイオ店

(一部抜粋)

経営理念

豊かで価値あるビジネスを展開し、
人々の暮らしぶりに貢献する

フィロソフィー

1	Enjoy Order	すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく
2	User Friendly	お客様から見て魅力があり、価値ある商品・カウンセリング・サービスをご提供する
3	Social Responsibility	常に社会の一員として責任ある行動を実践する
4	Think Differently	常に常識を疑い、常識にとらわれず、成長・進化していく
5	Act Without Being Afraid Of Risks	リスクを恐れず行動し、失敗したらまた立ち向かう

Ⅱ

2022年7月期 決算ハイライト

2022年7月期 決算ハイライト

2022年7月期 決算トピックス

- 新型コロナウイルス感染症の影響や原材料価格の高騰、円安による仕入れ価格への影響等はあるものの、新規出店による効果もあり、売上高は前期比で9.2%増加。加えて、原価低減施策の積極推進により売上高総利益率が約1.7ポイント改善したことで、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前期を大幅に上回る結果となった。
- 新規出店は、名古屋広小路通り店、神戸三宮店、グランフロント大阪店、広島パルコ新館店の4店舗を出店し、概ね計画通りとなった。
- 新たなオーダーアイテムとして、オーダーニット、レディスオーダーコート、キッズ・ジュニアオーダースーツ等を追加。

2023年7月期の取り組みについて

- 全国政令指定都市および大都市近郊への出店を積極推進。
- 新たな顧客サービスとして、「GSクローゼット」をサービス開始予定。

2023年7月期 業績予想

- 2023年7月期も依然として新型コロナウイルスによる社会・経済活動への影響は残ることを想定。
- 原材料価格の高騰、円安による仕入価格への影響等を考慮。
- 売上高予想の前提条件としては、既存店売上高を2022年7月期と同水準とし、年間5店舗程度の新規出店による売上高増加分を加味。

Ⅲ

2022年7月期 決算概要

2022年7月期 業績サマリー

- 新型コロナウイルスの影響加えて、原材料価格の高騰、円安による仕入れ価格の上昇等の影響はあるものの、売上高が前期比で9.2%増加したこと、また、原価低減施策の積極推進により売上高総利益率が約1.7ポイント改善したことで、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも前期を大幅に上回る結果となった。

単位：百万円

単位：百万円	2021年7月期 (実績)	2022年7月期 (実績)	前期比
期末店舗数	27	30	3店舗増
売上高	8,326	9,093	+9.2%
売上総利益	4,301	4,852	+12.8%
売上高総利益率	51.7%	53.4%	1.7%改善
営業利益	309	548	+77.7%
営業利益率	3.7%	6.0%	2.3%改善
経常利益	319	559	+75.0%
当期純利益	244	343	+40.4%

貸借対照表

単位：百万円

区分	科目	21/7末	22/7末	増減額
流動資産		3,637	3,688	51
	うち売掛金	270	321	50
固定資産		2,161	2,992	831
	うち有形固定資産	1,482	2,193	711
資産合計		5,798	6,681	882
流動負債		3,052	3,322	269
	うち短期借入金	1,250	1,500	250
固定負債		1,704	1,753	48
	うち長期借入金	863	1,017	153
負債合計		4,757	5,075	317
純資産合計		1,041	1,605	564

キャッシュ・フロー

単位：百万円

	2021年7月期	2022年7月期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	782	550	税引前当期純利益 552 減価償却費 211 未払消費税等の減少 △80 法人税等の支払 △142
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 109	△ 950	有形固定資産の取得 △858 敷金の差入れ △148 投資不動産の賃貸による収入 55
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 760	401	短期借入金の純増額 250 リース債務の返済 △166 自己株処分による収入 246
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	0	
現金及び現金同等物の 増減額	△ 87	2	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,334	1,336	

IV

2023年7月期の取り組み

**1. 全国の政令指定都市および大都市近郊エリアへの
新規出店**

2. 「GSクローゼット」をサービス開始

2023年7月期の取り組み

1. 新規出店

- 全国政令指定都市および大都市近郊への出店を積極推進。

【2023年7月期の出店予定】

- ① 2022年 8月 GINZA Global Style COMFORT 大宮門街店
- ② 2022年 9月 GINZA Global Style COMFORT 静岡呉服町店
- ③ 2022年 9月 GINZA Global Style COMFORT セントシティ北九州店
- ④ 2022年11月 GINZA Global Style COMFORT ビックカメラ千葉駅前店
- ⑤ 2023年 3月 GINZA Global Style COMFORT ミッドタウン八重洲店

【2022年7月期の出店実績】

神戸三宮店



(2021年10月OPEN)

名古屋広小路通り店



(2021年10月OPEN)

グランフロント大阪店



(2022年3月OPEN)

広島パルコ新館店



(2022年4月OPEN)

2023年7月期の取り組み

2. 「GSクローゼット」をサービス開始

- GSアプリ会員様限定サービスとして、GINZA グローバルスタイルのスーツ・コートをクリーニング&保管、ご希望の方にはお修理やサイズ調整などできる「GSクローゼット」をサービス開始。

【GSクローゼットの特徴】



クリーニングで大事なスーツやコートを綺麗に



保管サービス（無料）でご自宅のクローゼットがすっきり！衣替えに最適



リフォーム（サイズ直し・お修理）にも対応！



スーツ専門店ならではのオプションもご用意
ボタンの付け替えや裏地の貼り替えなどにも対応

V

2023年7月期 業績予想・株主還元

2023年7月期 業績予想

- 2023年7月期も依然として新型コロナウイルスによる社会・経済活動への影響は残ることを想定。
- 原材料価格の高騰、円安による仕入価格への影響等を考慮。
- 売上高予想の前提条件としては、既存店売上高を2022年7月期と同水準とし、年間5店舗程度の新規出店による売上高増加分を加味。

(百万円)	当期予想		前期		対前期
	2023年7月期 予想	構成比	2022年7月期 実績	構成比	増減率
売上高	10,553	100.0%	9,093	100.0%	16.0%
売上原価	5,008	47.5%	4,241	46.6%	18.1%
売上総利益	5,545	52.5%	4,852	53.4%	14.3%
販管費	4,911	46.5%	4,303	47.3%	14.1%
営業利益	633	6.0%	548	6.0%	15.3%
経常利益	659	6.2%	559	6.2%	17.8%
当期純利益	422	4.0%	343	3.8%	23.0%

株主還元について

1. 配当金

当社は、株主各位に対する安定的かつ継続的な利益還元を重要政策の一つとして考えております。将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保の充実に努めるとともに、配当につきましては、業績に連動した利益配分の水準を明確にするため、10%～20%を配当性向の目安に設定し、経営環境や事業戦略、財務状況等を勘案の上、年1回期末に実施していくことを基本方針としております。

2. 株主優待

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝の気持ちを表すとともに、当社商品・サービスへのご理解を深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。

対象：毎年7月末日現在の株主名簿に記載された当社株式200株（2单元）以上を保有する株主様

内容：当社が運営する国内店舗でのお買い物にご利用いただける、「株主ご優待券」を進呈いたします。

権利確定日	保有株式数量	ご優待券金額	備考
7月末日	200株以上	10,000円	・当社が運営する国内実店舗で1枚につき1回ご利用いただけます。 ・有効期限は翌年9月末日までとなります。
	300株以上	16,000円	
	400株以上	25,000円	
	500株以上	35,000円	

資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

以上